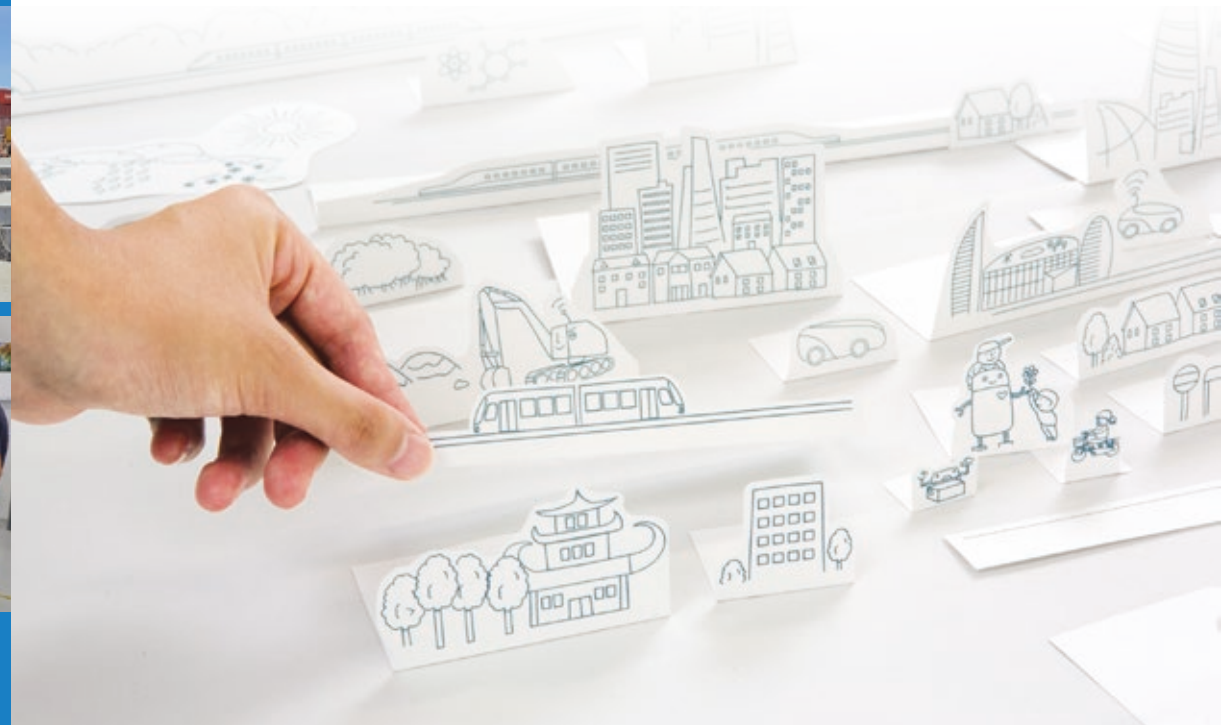


都市・交通デザイン学科



都市政策の先進地・富山で
都市環境と公共交通のあり方を探究。
強くしなやかな街づくりを富山から世界へ発信!

誰もがクリエイター。
その想いが未来の都市を築く。



“人に優しい町”…ってなんだろう？



Admission
policy

こんな夢を実現したい人のための学科です。

- 美しい都市づくりや、持続可能な社会インフラに興味がある。
- 都市や交通のユニバーサルデザインに興味がある。
- 地域のニーズにマッチした、利便性豊かで合理的な交通システムに興味がある。
- 防災のあり方や具体的な方法など、安全・安心な社会の実現に興味がある。

創る・まもる・つながる・あそぶ。
豊かな都市の未来を描こう!

日本の各都市を持続的に発展させるためには、都市の基盤を形作るインフラや防災の観点からのハード・ソフト両面の整備、そして地域活性化の観点からの地域資源の利活用やコミュニティ活性化が必要です。

本学科では、人間の活動領域としての都市と交通を対象に、自然科学、工学技術、社会科学を基盤としながら、デザイン思考を通じた実践を行うことで持続可能な都市の実現に寄与できる人材を育成します。授業は1年次から工学、理学、社会科学など多様なジャンルを連携・融合させながらも、JABEEに対応した国際水準の教育プログラムを進めています。また、理論の学修だけでなく、公共交通を軸としたコンパクトシティ先進都市で知られる富山の街をフィールドとした演習を多く取入れ、より具体的、実践的な教育を行っています。



Place of
employment

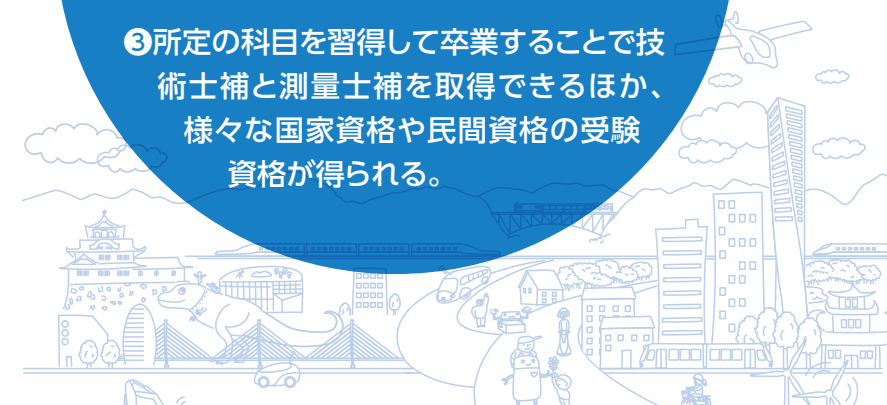
卒業後の主な就職先

まちづくりや防災に関する行政機関、鉄道事業者、高速道路会社、建設会社、調査・測量・建設コンサルタント、メーカー（橋梁等）、情報通信業などでの活躍が期待されます。

- 官公庁 ● 地方自治体 ● 総合建設業
- 鉄道事業者 ● 高速道路会社
- 建設・都市計画コンサルタント
- 測量コンサルタント ● 環境コンサルタント
- 情報通信業 ● 住宅メーカー など

都市・交通デザイン学科
学びの特長

- ① 災害に強く安全・安心で美しい都市をデザインするための知識を修得。
- ② 経済・行政・社会の仕組みや都市の文化を理解して、都市や交通の計画を学ぶ。
- ③ 所定の科目を習得して卒業することで技術士補と測量士補を取得できるほか、様々な国家資格や民間資格の受験資格が得られる。



都市・交通デザイン学科で“学べる”こと

インフラ構造学



インフラ構造物、河川・自然環境、計画、設計、施工、維持管理、長寿命化

道路・橋梁・トンネル・鉄道・河川・ダム・電力・上下水道・空港・港湾等の社会・経済活動の基盤となるインフラ構造物の合理的な計画・整備・維持管理、及び長寿命化について、自然環境との調和、都市や地域の創生と持続的発展、安全・安心で快適な暮らしの実現をテーマとした教育・研究を行っています。

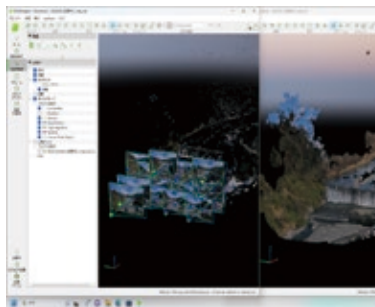
都市・地域コミュニティ学



都市・地域計画、都市再生、エリアマネジメント、コミュニティ、ソーシャルキャピタル

都市や地域の計画・改善を図るうえで、住民や地元関係者との対話や協働、合意形成はとても重要です。そのようなプロセスを通じてこそ、より魅力的な価値が生まれます。まちづくりにおける豊かなコミュニケーションを通じた価値の形成やマネジメント手法について教育・研究を行っています。

情報・数理科学



データサイエンス、画像処理解析、数値シミュレーション、地理情報システム、高度交通システム、地域安全学

超スマート社会で注目されているスマートインフラ(建設×情報)を支える3D計測データ処理や無人航空機(UAV)空撮画像の解析技術、防災・減災を支えるGIS活用技術、そしてプログラミングや数値シミュレーションなど、データサイエンスとその関連技術に関する教育・研究を行っています。

国土・交通計画学



国土学、国土計画、交通政策、公共交通、コンパクトシティ、モビリティマネジメント、インフラ施設運営

人やモノ・情報がスムーズに行き交えることは、豊かな社会・国土の基本です。これからの人口減少社会における国土や交通のあり方、大規模災害発生時にも機能不全に陥らない交通ネットワーク、低炭素社会の実現など、現代と未来の国土や交通の諸課題に応える教育・研究を行っています。

デザイン・環境学



都市空間・景観デザイン、環境デザイン、都市・建築工学、まちづくり、歴史・文化

土木や建築の計画・設計に関する工学的知識を踏まえ、地域の歴史・文化といった複合的視座とともに、都市空間・景観・環境・建築・プロダクトなどに関わる都市のトータルプランナー・デザイナーを育成します。また、人々がいきいきと豊かに暮らすためのまちづくりにも取組んでいます。

防災・減災学



自然災害、発生防止・抑制対策、被害軽減対策、バイパス対策、防災デザイン、リスクマネジメント

今後、気候変動に伴う降雨量の増大や大規模地震の発生などが予測される中、限られた防災予算で最も効果的な防災デザインから安全・安心な社会を実現するための災害発生メカニズム、ハザードマップ、対策の考え方や設計手法、リスクマネジメントなどについて教育・研究を行っています。

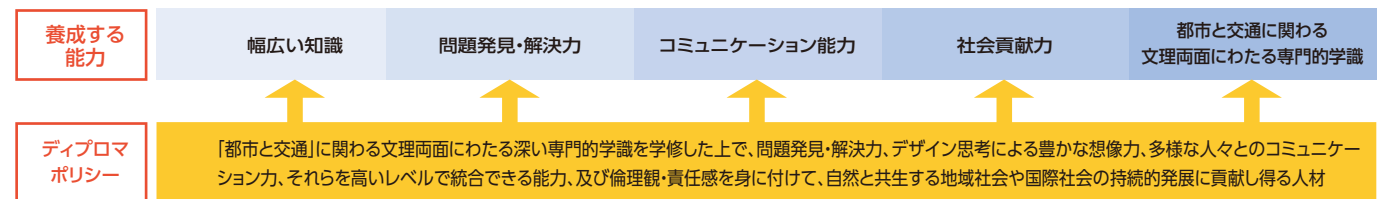


Curriculum policy

都市・交通デザイン学科の学修においては、人間の活動領域としての都市、およびその活動を支える基盤となる交通を対象に、それらに関わる幅広い知識や専門的学識を身につけ、対象となる事柄の問題を発見・解決する力、それらに対し倫理観・責任感をもって社会に貢献する力をつけます。
4年間を通じて様々な人々と協議するコミュニケーション能力を養い、卒業後には専門的な職業人として地域と国際社会で活躍できる人材の育成を実現します。

- 都市と交通に関する、幅広い知識と教養を身につける教養教育。
- 都市と交通に関する、文理両面にわたる専門的知識や、問題発見・解決力を身につけるための専門教育。
- 責任感、コミュニケーション能力を身につけるための学部共通教育。

●カリキュラム・マップ ※カリキュラムは一部変更になる場合があります。



4年次	T4	T3	T2	T1	卒業論文									
3年次	T4				データ解析 応用		地域 デザイン PBL	グローバル・ エンジニア のいざないB	イン タ ー シ ン グ A・B			都市と交通の 実践論		自然災害学 演習
	T3						モビリティ デザイン	グローバル・ エンジニア のいざないA			科学者・ 技術者 倫理と 知的財産	都市の ライフラインと 建築設備	耐震工学	
	T2				人工知能 基礎		都市デザイン演習	実践 英語			職業 指導	都市と建築の環境学 鉄軌道と道路 都市・地域計画学II	設計製図II、防災と情報 リモートセンシング学 地盤・水理実験	
	T1				データエンジニアリング 基礎							都市デザイン史 都市と交通の実践論	構造・材料実験 コンクリート構造 インフラ設計学	
2年次	T4		応用数学						海外語学研修	英語eラーニング		都市景観 デザイン	水理・水工学の応用と 河川・海岸 雪氷学 火山学	原子力関連資源 放射線基礎学B
	T3			自然災害学 測量学	計算機工学				キャリア ア ス タ ダ イ A・B				設計製図I 構造力学II 地盤工学の応用と建設施工 火災安全工学入門	放射線 基礎学A
	T2			物質科学 工学概論/ 土木・建築・金属	データサイエンス 応用	デザイン思考 基礎						都市・地域 計画学I	気象学 色彩学 構造力学演習	水理・水工学基礎 地球情報学 構造力学IB
	T1			インフラ材料	データサイエンス 発展							都市と交通の 計画学基礎	構造力学IA 地盤工学基礎	
1年次	T4	情報化社会への 対応 国際化社会への 対応 社会的変化への 対応	微分 積分II		データサイエンス 基礎									一般地質学
	T3		線形 代数II		プログラミング実習 (Python)									
	T2	自然科学 社会科学 人文科学 統合科目	力学	線形代数I	都市デザイン学 入門セミナー	工学概論/電気 電子・情報・機械・ 化学・生物								地球科学概論
	T1		微分 積分I											
青字:教養 赤字:必修 紫:選択必修 緑字:選択 下線:学部共通		教養科目	専門基礎科目	都市デザイン学 の基礎	情報処理の基礎	デザイン思考	社会貢献 コミュニケーション	都市や交通の 計画	都市の建設や安全・安心	学部共通科目・専攻科目				



Qualification

都市・交通デザイン学科で学ぶと取得可能になる免許・資格

- 【国家資格】 技術士補／技術士／一級施工管理技士(土木、建築、管工事、電気工事、造園、建設機械)／測量士補／測量士／高等学校教諭一種免許状(工業)
- 【民間資格】 コンクリート技士／コンクリート主任技士／プレストレストコンクリート技士

※各資格を取得するにあたって、それぞれ一定の条件が必要となります。

都市・交通デザイン学科 担当教員

教授
原 隆史

専門分野／地盤構造物の挙動予測と設計法の開発、防災のリスクマネジメント

【担当科目】地盤工学基礎、グローバル・エンジニアへのいざない など
限られた防災予算でどう安全と安心を勝ち取るのかをテーマに、リスクを効果的に軽減する防災対策の開発と防災対応の研究を行っています。

太平洋沿岸の災害リスクが高まる中、防災拠点としての富山を、より安全・安心でみんなが住みたくする街に!

准教授
春木 孝之

専門分野／計算科学、数値シミュレーション

【担当科目】計算機工学基礎、プログラミング演習、人工知能基礎 など
データサイエンスを駆使して、スマートシティ実現に向けた計算機工学、未病科学、プラズマ物理学に関する研究指導を行っています。

デザイン思考とデータサイエンスを武器に、学内外の様々な課題に挑戦しましょう。

准教授
猪井 博登

専門分野／交通工学、都市計画、社会福祉学、住民参加

【担当科目】都市と交通の計画学基礎、地域デザインPBL など
生活維持のための地域公共交通のあり方、さらに、大雪などによる自動車の交通障害を予測する方法などを研究しています。

富山という良好な環境のなかで、未来のまち、交通のあり方を共に見つけましょう。

教授
久保田 善明

都市の施設や空間のデザイン、公共調達制度、都市計画、中心市街地活性化、設計マネジメント論

【担当科目】入門ゼミナール、都市景観デザイン、都市デザイン史、インフラ設計学、設計製図Ⅱ など
インフラ構造物や都市空間の計画と設計、景観デザイン、構造デザイン、公共調達制度、都市計画や中心市街地活性化などに関するさまざまな研究と実践活動を行っています。

コンパクトシティの実践的な取り組みが進む富山の学びは、今後の持続可能なまちづくりを考えるうえでとても大きな学びになると思います。これからの都市の姿を一緒に考えていきましょう!

准教授
竜田 尚希

専門分野／地盤工学、土質力学、地盤補強材(ジオシンセティックス)

【担当科目】微分積分Ⅱ、地盤・水理実験、構造・材料実験 など
土と補強材を使用した土工構造物の研究開発をテーマとして、安全・安心なインフラの構築、長寿命化を目指しています。

富山の偉大な自然と土木構造物を誇りに思い、未来永劫、災害に強い、都市づくりに貢献します!!

講師
劉 強

専門分野／交通工学、都市モビリティ、データサイエンス

【担当科目】測量学、微分積分など

公共交通に関するデータを用いた人の移動行動の分析および政策評価に関する研究を行っています。シェアサイクルや徒歩といった他の移動手段にも着目し、都市における多様な移動行動の特性や相互関係の解明にも取り組んでいます。

実際のデータを使って「社会に役立つ分析」を一緒に考えていきましょう。

教授
堀 祐治

専門分野／都市環境・設備、建築環境・設備、生活環境、エネルギー

【担当科目】都市と建築の環境学、都市のライフラインと建築設備 など
建築と都市、気候が人々の生活にもたらす環境。その発展を支える都市機能・設備、エネルギー。サステナビリティに関わる研究を行っています。

未来の環境都市・建築のあり方について多くの議論と研究が行われてきました。現在まさに実行に移す時です。

教授
堀田 裕弘

専門分野／ヒューマン情報処理、ITS(高度交通システム)、情報センシング

【担当科目】データサイエンス、都市・交通情報通信、土木情報学 など
スマートデバイスを用いた人の嗜好・満足度予測、AIによる太陽光発電・電力需要予測、道路インフラ維持管理や建設DX。

都市デザイン学の基盤となるICT・AI技術の実用的な研究開発を通して地域創生に貢献していきます。

助教
王 永成

専門分野／都市計画、地域研究

【担当科目】都市景観デザイン、設計製図 など
持続可能な都市再開発に向けて、街路歩行性の向上と都市遺産の保全という両軸が交わった、都市計画・コミュニティ構築の手法に関する研究を行っています。

景観のあり方・景観に対する様々な見方を、地域・国際交流を通じて一緒に学びましょう。

特命助教
土屋 泰樹

専門分野／都市計画、GIS(地理情報システム)

【担当科目】地域デザインPBL など

定量的なデータと定性的な分析を組み合わせながら中心市街地の活性化について研究しています。

まちを理解するためには実際にまちを歩き、使いこなすことが重要です。富山のいろいろなまちに出かけて学びましょう。

教授
本田 豊

専門分野／建設行政学、交通政策、住民参加の交通まちづくり

【担当科目】鉄軌道と道路、都市と交通の実践論、科学者・技術者倫理と知的財産 など

人口減少時代の都市圏において市民生活の質の向上を実現するための総合交通政策、都市インフラ整備、制度設計に関する研究。

地方都市の元気こそが日本全体の元気につながります。富山の地で、持続可能なまちと交通を学びましょう。

准教授
鈴木 康夫

専門分野／構造工学、鋼構造

【担当科目】構造力学ⅠA、ⅠB、Ⅱ、構造・材料実験、応用数学 など

鋼部材接合構造の合理化と健全度評価、鋼やコンクリート等の既存材料とFRP等の新材料を用いた新しい構造物の開発に関する研究。

インフラ構造物の老朽化が社会問題となっている昨今ですが、インフラ構造物のこれからのあり方を一緒に考えましょう。

准教授
高柳 百合子

専門分野／都市・地域計画、歩行者中心の街路空間計画

【担当科目】地域デザインPBL、都市・地域計画学、デザイン思考基礎 など
移動の質を重視する都市・交通計画をテーマに、土地利用と交通の両面から、ウォーカビリティの高い都市の実現を目指しています。

都市環境は心と体に影響を与えています。優先順位は、徒歩→自転車→公共交通→マイカー。徒歩圏をデザインしましょう!